

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

未来を見つめて

校長 小山 裕之

「私には、国立大学に進学し、教師になるという夢があります。そのため、国公立大学へのカリキュラムが充実した貴校への進学を志望しました。」「やると決めたことは必ず最後までやり通すところが、私の強みです。」「僕は、いつでも明るく、誰とでもコミュニケーションがとれます。この長所を活かして、行事の実行委員長や部活の副部長など、たくさんの人をまとめる活動を行っていました。」

昨年11月の面接練習では、将来の夢や自分の長所、中学校生活で頑張ったこと等について、3年生が真剣な表情で語りました。志望理由等を敬語を使って堂々と話す姿からは、相当な練習の跡が窺えます。一方で、時折、言葉に詰まりながらも、自分の思いをなんとか自分の言葉で伝えようとする姿には、自らと向き合いながら将来を見据える、15歳の懸命な姿がありました。初めて迎えたかもしれない「入試」という試練と対峙しつつ、未来を真っすぐ見つめる澄んだ眼差しを、信じ、応援したい気持ちで見つめました。



毎月定期開催をしている12月の生徒議会では、議長さん、副議長さんを中心に、生徒会本部役員や専門委員会の委員長さん、学年委員長さんらが、今後の委員会活動の取組や強化週間の内容等について話し合いました。検討した各委員会の取組の柱が、廊下に掲示されています。例えば環境・美化委員会では、活動内容として「教室のワックスがけ」「落ち葉掃き」「清

掃用具の確認」を掲げ、実施予定の取組として「掃除強化週間」を計画しました。また、今月と来月の生徒会朝礼では、各委員会が活動内容等について発表する予定とのこと。中学校卒業後の近い将来、答えの見つからない課題にも、きっと向き合うであろう生徒たちです。自分たちで課題を見つけ、解決策を考え、自らの手でよりよい環境を築いていく営みを、未来を逞しく生き抜く糧とし、成長する姿に期待が膨らみました。



12月22日（金）の終業式の後には、在校生に新しい制服のお披露目を行いました。本校は令和6年度新入生より、ブレザーとネクタイ・リボン等を基調とした上着やスカート、男女兼用のスラックス等の制服に変更いたします。新制服のモデルには3年生が登場し、笑顔でポーズを決めたり、司会の生徒によるインタビューを行ったりしました。未来を見据えた変化の1つとして、新制服での新たな杉戸中学校が間もなくスタートします。

後になりましたが、保護者・地域の皆様には、爽やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。本校がさらなる発展を遂げられるよう、全教職員で努めて参ります。引き続き「チーム杉戸中」として、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

